

第1回 ICCC勉強会

「多職種連携と地域を耕すこと～東松山市の事例を通じて～」報告書

(1) 概要

題名：「多職種連携と地域を耕すこと～東松山市の事例を通じて～」

講師：社会福祉法人東松山市社会福祉協議会 東松山市総合福祉エリア

相談支援専門員 田口 純子 氏

①目的

埼玉県東松山市の市社協や自立協など地域の様々な事業所が、連携・協働し、地域作りをしている様子から、多職種や事業所の違う方々がどのように連携体制を構築しているのかを学ぶ。また、全国で初めて就学委員会を廃止し、障害があっても希望の学校へ入学するようにした東松山市が、どのような経過をたどり、現在はどのような課題があるかを知る。

②開催日時・方法

6月24日（土）13時30分～15時30分 オンラインにて開催

③参加者記録

申込者23名

当日参加者18名・講師1名・運営スタッフ6名 合計25名

参加者所属	自治体医療的記ケア児等コーディネーター	8名
	こども園、訪問看護ステーション、療育施設等所属看護師	4名
	相談支援事業所所属相談支援専門員	3名
	その他	3名

④講演内容

- ・東松山市の紹介（ノーマライゼーションの町作り・自立支援協議会について）
- ・就学支援委員会廃止に伴い、整備したサポート体制（就学支援シート・巡回相談）
- ・児童発達支援センター整備についての東松山市の準備と考え方
- ・具体的事例を通して
- ・現状の課題
- ・質疑応答

(2) ふり返り

東松山市で通所施設を閉鎖することを運営方針に掲げてから、実際地域で子ども達を受入、施設を解体するに至るまで10年がかかった。丁寧に地域を耕し、多職種で連携する体制を作るには時間がかかること、時間はかかっても一つの方針をぶれずに進めることの大切さと、困難があっても、決して不可能ではないという事例を学んだ。

(3) アンケート

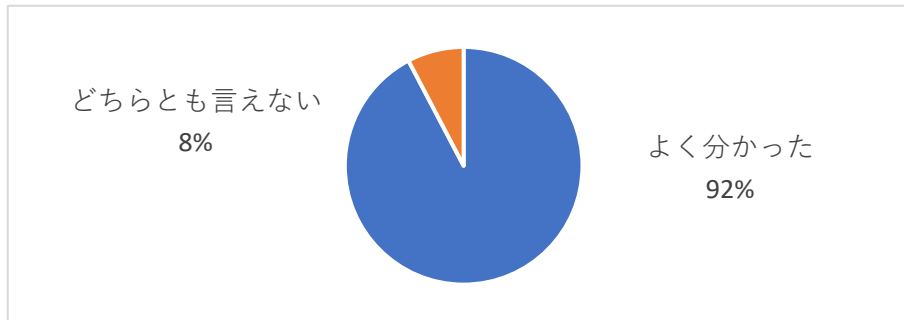
①回答の概要

参加申込者 23名にアンケートを配信

参加者18名中13名から回答あり（回答率72%）

②アンケート結果

Q 他職種連携や地域作りについて伝わりましたか？



Q あなたの業務においてヒントになりましたか？

